

病院勤務医の負担軽減及び処遇に資する体制

当院は勤務医の勤務状況を把握し、改善すべき点について対応してきましたが、更に勤務医の負担軽減を進めるには各専門職を含めた協力体制が必要であり 2024 年度は下記の通り取組を行い、勤務医の負担軽減を図ります。

看護部	入院時のベッド調整と退院支援、調整
薬剤課	持参薬を考慮した服薬計画の提案 医薬品の有効性・安全性の情報収集と管理 医師不在時の持参薬切替処方代行（事前承諾済に限る）
放射線課	CT・MRI・US 画像読影の補助と当日中のレポート添付 オーダーリング代理入力
栄養課	栄養指導の中で病気・血液検査に関する説明の実施 静脈・経腸栄養剤種類・量・水分量の提案
臨床検査課	輸血内容、輸血前検査の確認と不足時の追加提案実施 PCR 等による感染症検査結果の迅速な報告体制の構築
臨床工学課	使用機器の特性や状況に応じたモード・設定値の提案
リハビリテーション部	病棟におけるオーダー漏れゼロへの働きかけ リハビリオーダー早期からの HDS-R の対象拡大実施
地域連携部	支援対象患者さまのインフォームドコンセントに同席。方向性の検討に役立つ情報提供と提案
事務職員等	診断書等医師記載文書作成の補助・電子カルテ入力代行
勤務体制に係る取組	①連続当直を行わない勤務体制 ②時間外、休日、深夜対応についての負担軽減 ③勤務間インターバルの確保 ④当直翌日の勤務配慮 ⑤年間有休取得 5 日確保

病院長